

長期戦略:テーマ 「教育の長期的成果の検証 学修成果を把握・評価する仕組みの構築」

提出日 2019年 8月 28日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	小野総合企画部長 (総合企画部)	実施計画の 担当部署	総合企画部・教務機構
-----------------------	---------------------	---------------	------------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(1)-① 「Kwansei コンピテンシー」の策定と運用	(2019)年度	(2021)年度	必要⇒【必須型】(全学部または全研究科での取組みが必須)	不要
内容 本大学は、大学として「学部の区別なく学生が共通に身に付けるべき知識・能力・資質」(「Kwansei コンピテンシー(仮称)」)を時代に即して新たに定め、各学部はそれを土台に「各分野における学位授与に必要な知識・技能」であるDP(ディプロマポリシー)を再策定する。 また、策定された「Kwansei コンピテンシー(仮称)」を基に大学として「学部の区別なく学生が共通に身に付けるべき知識・能力・資質」の到達状況を測定、評価する取組を推進する。				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	Kwansei コンピテンシー策定の有無	Kwansei コンピテンシーが策定されたかどうか		
指標2	Kwansei コンピテンシーの到達状況を測定、評価する取組の有無	Kwansei コンピテンシーの到達状況を測定、評価する取組が卒業時調査等で実施されているか		
指標3				

目標1<指標1> Kwansei コンピテンシー策定の有無

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標	完了	—	—	—
実績				

目標2<指標2> Kwansei コンピテンシーの到達状況を測定、評価する取組の有無

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標	実施	実施	実施	実施
実績				

目標3<指標3>

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標				
実績				

2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
Kwansei コンピテンシーを保証する 仕組みの確立	策定段階	仕組みの検討	仕組みの検討	仕組みの確立	見直し	見直し
	2020 年 3 月 末段階	「カリキュラムの基本構造の改革」WGにてカリキュラム改革を検討中				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階	見直し	見直し	見直し	見直し	
	2020 年 3 月 末段階					
		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
Kwansei コンピテンシーの到達状況を測定、評価する 取組	策定段階	方法の検討・実施	実施・改善	実施・改善	実施・改善	実施・改善
	2020 年 3 月 末段階	2018 年度卒業生調査にて実施				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階	実施・改善	実施・改善	実施・改善	実施・改善	
	2020 年 3 月 末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】				
非公開				
経費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	(2021)年度	4 年目以降
非公開				
人員・人件費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	(2021)年度	4 年目以降
非公開				

4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	
() 年度	
() 年度	

5. 今後の課題及び方向性

(2019) 年度	「Kwansei コンピテンシー」は2019年1月に大学評議会で承認を得た。また、3月の卒業式当日に卒業生を対象とした調査を行った（高等教育推進センター）。「カリキュラムの基本構造の改革」WGでもそれらを保証するカリキュラムの在り方について議論は開始した。今後、卒業生調査の結果も踏まえ、「Kwansei コンピテンシー」の修得を保証する仕組み（どうすれば保証できると言えるかの議論含め）を全学的に検討していく必要がある。
(2020) 年度	
(2021) 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	—
2019 年度	—
() 年度	